

1 就学支援ガイダンス

外国につながる生徒や保護者の中には、日本語理解が十分でないこと、また、日本の教育制度や、中学校を卒業したあと高校や大学に進学する方法がわからない人が多いために、高校への進学率が低いという全国共通の課題があります。2006年までは、ひょうご日本語ネットが主催し、こうべ子どもにこにこ会が共催、兵庫日本語ボランティアネットワークが事務局の体制で、毎年10月に神戸市と姫路市の2会場で進学ガイダンスが行われていました。

2007年からは、兵庫県教育委員会が「外国人児童生徒にかかわる就学支援ガイダンス」という名称で行っています。現在は、神戸市・姫路市を含めて県内5会場で夏季休業中等に開催しています。

(1)「就学支援ガイダンス」の主な内容

① 高校生活と高校入試

日本の高校生活は、母国の高校と同じところと違っているところがあり、外国人生徒や保護者は日本の高校生活の明確なイメージがなく、不安に思っています。また、入学者選抜方法も、公立高校では推薦入学と学力検査（いわゆる一般入試）、複数志願選抜、外国人生徒にかかわる特別枠選抜などと複雑で、理解が難しくなっています。高校入試のしくみや高校生活について理解を深めることが、安心して高校進学に向かう気持ちを高めることにつながります。

高校進学についての説明は中学校でも行っていますが、とりわけ、日本語理解が不十分な保護者の理解を深めることが大切です。

② 大学進学や就職をした外国人の先輩（ロールモデル）の体験談

「就学支援ガイダンス」では、大学進学や就職をした先輩（ロールモデル）から体験談を聞くことができます。中学校の教員や子ども多文化共生サポーター、関係団体等の支援を受け、日本に来て苦労をしながらも、高校に進学し、進路目標に向かって頑張っている先輩の体験談を聞くことで、高校進学への意欲が育まれます。

③ 教育相談

兵庫県教育委員会や外国人生徒にかかわる特別枠選抜実施校の担当者及び関係団体の支援者などが、生徒や保護者と個別の教育相談を行い、支援を行っています。また公立の中学校や高等学校では必要に応じて母語の通訳者が同席し、安心して教育相談を受けることができます。

(2)「就学支援ガイドブック¹」

兵庫県教育委員会は、学校への就学や高校入試についての説明をわかりやすく行い、高校進学への意欲を高めるために、日本語を含め18言語（2025年度現在）で「就学支援ガイドブック」を作成し、配布しています。

¹ 子ども多文化共生センターのサイトからダウンロードできます。

<https://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/>

[syuugaku/syuugakusien%20guide%20book/syuugakusien%20guide%20book.html](https://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/syuugaku/syuugakusien%20guide%20book/syuugakusien%20guide%20book.html)

コラム③

「夢をかなえるために ～高校進学と就職～」

市内の病院で昨年から看護師として働いています。小学校入学前にベトナムから日本にきました。最初は言葉や習慣がわからず苦労しました。私には、小学生の頃から看護師になりたいという夢がありましたから、日本語や教科の勉強をがんばりました。しかし、家族の生活は大変でしたから経済的な面で親の協力を得るのは難しく夢を実現させることはできないのではないかと悩みました。とにかく頑張るしかないと考え、中学校では生徒会長をしたりスピーチコンテストに出場したりとできる限りのことをしました。

中学3年生になってからでは遅すぎるので1年生の時に、小学生の時から毎週通って勉強した地域の補習教室の先生と、できるだけ少ない費用で短い期間で看護師の資格をとる学校を探しました。そこで見つけたのが龍野北高等学校でした。姫路からなんとか通える県立高校であり、5年一貫教育であるため経済的にも期間的にも私が希望していた通りでした。

龍野北高校の看護科は、推薦入試だけでしたので勉強を頑張るだけでなく学校推薦をもらうために必死に何でも挑戦しました。塾に行く余裕はありませんでしたから、毎週土曜日の午後に補習教室でボランティアの先生に教えていただきながら苦手な教科の勉強に励みました。また、両親は日本の高校のことや入試の方法が全くわからなかったので、入試対策や精神面でのサポートもボランティアの先生がしてくださいました。

このような日々の努力の結果、無事に希望する学校に入学することができました。入学後は、補習教室の先生の紹介で病院の奨学金がいただけることになり、家族に負担をかけることなく看護師になるための勉強に集中することができました。

看護科での勉強は決して楽なものではありませんでしたが、看護師国家試験に合格し、看護師として働くことができました。現在、人の命を預かり責任感のあるオペ室勤務でやりがいを感じながら働いています。

ここまでの道のりは簡単なものではありませんでした。家族の応援がない時があり精神的につらいことも沢山ありました。何度も挫けそうになり、涙を流すこともありました。しかし、自分の夢を叶えるために歯を食いしばり頑張ってきました。

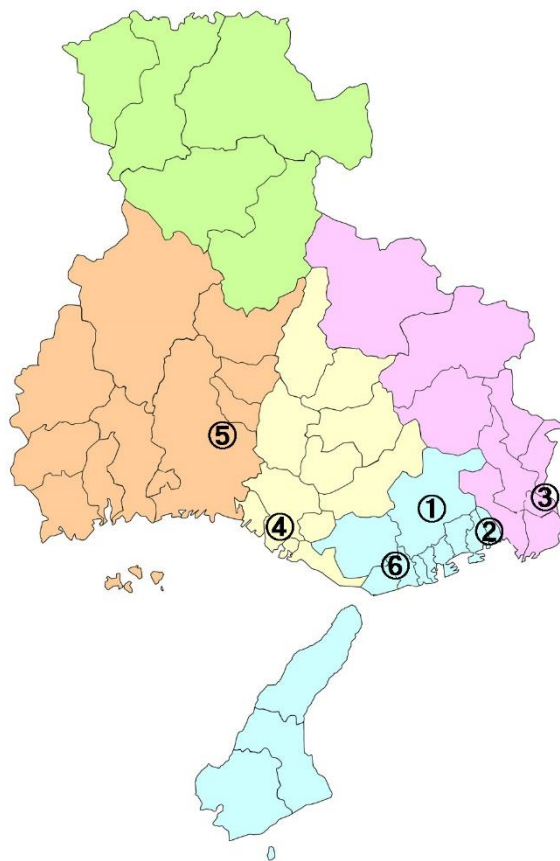
皆さんも、今将来に不安や、高校進学や入試に対するプレッシャーがあると思います。投げ出したい時もあると思いますが勉強はとても大切なことであり、将来きっと役に立ちます。日々の勉強を大切に、チャンスが来た時に備えてください。また、お世話になった方や、サポートしてくれた方への感謝も忘れずに頑張ってください。皆さんの活躍をお祈りしています。

2019年度「外国人児童生徒にかかわる就学支援ガイダンス」での体験発表

2 外国人生徒にかかわる特別枠選抜

外国人生徒にかかわる特別枠選抜

県立全日制高等学校で学ぶ意欲があるにもかかわらず、渡日間もなく日本語運用能力やコミュニケーション能力が十分でない外国人生徒を対象に、入学者選抜方法を工夫し、入学後の学習支援を行う特別枠選抜を実施することにより、学習機会の充実を図るという趣旨で以下の6校で実施しています。



実施校と所在地

- ① 県立北神戸総合高等学校 総合学科
- ② 県立芦屋高等学校 普通科（単位制）
- ③ 県立伊丹北高等学校 総合学科
- ④ 県立加古川南高等学校 総合学科
- ⑤ 県立香寺高等学校 総合学科
- ⑥ 神戸市立須磨翔風高等学校 総合学科

2025(令和7)年度 兵庫県公立高等学校入学者選抜要綱より

※詳細は兵庫県教育委員会高校教育課HP、各校HP、子ども多文化共生センターHP 参照

募集定員 各高等学校の入学定員とは別に、各校3名

出願資格・推薦基準 次の(1)～(3)の条件を満たす者とする。

- (1) 外国籍を有する者で、入国後の在日期间が、2025（令和7）年3月31日現在で、3年以内の者。
- (2) 2025（令和7）年3月に中学校を卒業する見込みの者並びに外国において、学校教育における9年の課程を修了した者又は2025（令和7）年3月に修了する見込みの者等。
- (3) 県内に居住しており、保護者とともに引き続き県内に住所を有する者、又は2025（令和7）年4月7日までに県内へ住所を移し、保護者とともに引き続き県内に住所を定める見込みの者。

出願手続 2025(令和7)年2月3日(月)～2月5日(水) *受付時間に注意
※出願に際し、入学願書により、第1志望校以外に複数校の志望校を希望できる。

志願変更 2025(令和7)年2月6日(木)～2月7日(金)の期間内に1回に限り変更可。

実施日 2025(令和7)年2月17日(月)

実施内容 面接及び適性検査 適性検査の内容：国語（基礎的な日本語能力）、数学、英語

合格者発表 2025(令和7)年2月21日(金)

3 特別枠選抜実施校の概要

① 県立北神戸総合高等学校（総合学科）

1 学校の特徴

県立神戸甲北高等学校、県立神戸北高等学校の発展的統合により、県内最大規模（8クラス320名＋外国人特別枠3名）の全日制総合学科高等学校として2025年4月1日に開校しました。 1年次では基本となる学びを行い、2年次からは3領域6系列の中から一つを選んで学習を行います。日本語教師資格を有する教諭複数・ネイティブ教員等を常勤で配置し、教育課程においても他校にはない工夫をしているので、入学した生徒達の満足度・学校生活の充実度はとても高いです。	
--	--

2 2025年度公立高校外国人生徒特別枠選抜により入学した生徒に対する支援

日本語授業	1年次：国語必履修科目「現代の国語」「言語文化」のかわりに、外国人特別枠生徒のみを対象とした日本語教師資格者による学校設定科目「日本語基礎」を4単位（週4時間）実施します。 2年次・3年次：外国人特別枠生徒3名のみを対象として特化した国語必履修科目「現代の国語」「言語文化」を実施します。さらに、学校設定科目として「日本語応用」等日本語に関する科目も実施して、日本語能力の向上をはかり、日本語能力検定にも積極的に挑戦します。
取出授業	1年次：「歴史総合」「数学Ⅰ」「数学A」「化学基礎」「コミュニケーション英語Ⅰ」「論理・表現Ⅰ」「家庭基礎」「情報Ⅰ」で日本語能力に応じて実施します。
授業以外の学習支援	日本語教師資格を有した複数の教員やネイティブ教員が常駐していますので、授業以外でも、手厚い支援を受けることができます。 日本語能力試験の合格を本校の増加単位として認定しています。
専用学習室	あり。授業や放課後の学習に使用しています。
サポーター配置	1年次のみ：中国語、英語等
地域団体との連携	中学校や地域で生徒やご家族を支援している諸団体と連携して、学校生活の充実を図っています。
ボランティアの受入れ	なし
生徒たちの活動紹介	生徒たちは放課後には生き生きと部活動に参加しています。年次をこえて仲良く、上級生が下級生の面倒もよくみてくれます。文化祭や学年行事、総合学科発表会などでは、外国人生徒たちが学習成果発表を行い、高い評価を得ています。日本語能力検定の合格率も高いです。
その他（受験生へのアドバイス等）	オープンハイスクール、学校見学等に保護者の方とともに参加し、しっかりと学習内容を知った上で、志願をしてください。

3 所在地・アクセス

〒651-1144 神戸市北区大脇台9-1

TEL078-593-7291 FAX078-593-7293

<https://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/kitakobesogo-hs/NC3/>

- ① 神戸市営地下鉄北神線「谷上」駅で乗換
神戸電鉄「北鈴蘭台」下車東へ徒歩 15 分
- ② 神戸電鉄「新開地」から
三田・有馬温泉方面行
「北鈴蘭台」下車東へ徒歩 15 分



② 県立芦屋高等学校（普通科単位制）

1 学校の特色

本校は「自治・自由・創造」の校訓を基盤とした普通科単位制高校です。多彩な選択科目が設置されており、生徒一人一人の進路希望に応じて授業を選択できます。選択科目の中には、英語以外にも韓国語、中国語が設置されています。また、本校はグローバル教育を推進しており、オーストラリアや台湾の学校との交流などを通して、異文化理解を深めることをめざしています。

2 2025 年度公立高校外国人生徒特別枠選抜により入学した生徒に対する支援

日本語授業	1 年次：日本語指導（4 単位） ＊2 年次では文系選択生徒は 2 単位、理系生徒は 0 単位、3 年次では文系選択生徒は 6 単位・理系選択生徒は 4 単位日本語指導を実施する ＊これらはすべて「特別の教育課程」による日本語指導です。
取出授業	1 年次：歴史総合・地理総合・数学Ⅰ・数学 A・物理基礎・生物基礎・保健 ＊生徒の状況、授業内容に応じて、入り込み授業（チームティーチング）を実施する場合があります。 2・3 年次：必要に応じて実施しています。
授業以外の学習支援	1 年次：週 3 回の放課後支援（日本語の学習・生活支援/授業の復習・母語指導・検定試験対策など）や考査前には教科担当による補習を実施しています。2 年次・3 年次も週 1 回の放課後支援（母語指導・進路指導）を実施します。
専用学習室	IE ルーム（International Education Room） ＊授業や放課後支援の場、そして外国人生徒たちの様々な活動拠点となっています。
サポーター配置	中国語 日本語 フランス語、各 1 名
地域団体との連携	なし
ボランティアの受入れ	なし
生徒たちの活動紹介	・記念祭（文化祭）では、ポスター発表などで母国紹介を行います。 ・先輩や卒業生との交流会で親睦を深めています。
その他（受検生へのアドバイス等）	学校説明会（8 月、10 月）を実施しています。また、受検希望者には個別相談を行いますので、問い合わせをしてください。

3 所在地・アクセス

〒659-0063 兵庫県芦屋市宮川町6-3

TEL0797-32-2325 FAX0797-32-2327

① JR「芦屋」下車 徒歩10分

② 阪神「芦屋」下車 徒歩8分、阪急「芦屋川」下車 徒歩18分

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~kenashi-hs/>



③ 県立伊丹北高等学校（総合学科）

1 学校の特徴

本校は全日制総合学科（単位制）です。2 年次からは多彩な選択科目の中から、自分の興味・関心と将来の進路希望に合わせて、学習する科目を決めます。語学は、英語以外に中国語の選択科目もあります。総合学科特有の学び（伊丹北モデル）では、日本文化探究などの課題研究を通じ、スピーチやプレゼンテーションなどの活動によって実践的な「生きる力」を身につけます。

2 2025年度公立高校外国人生徒特別枠選抜により入学した生徒に対する支援

日本語授業	1 年次：放課後の学習 2 年次：日本語 A（2 単位） 3 年次：日本語 B（2 単位）
取出授業	1 年次：芸術・保健・産業社会と人間以外の教科・科目 2 年次：論理国語・公共・地理総合・理科基礎・化学基礎 3 年次：論理国語
授業以外の学習支援	放課後の学習：日本語（2 時間・週 2 回） 定期考査前の学習：必要科目 1 年次は必ず参加。2・3 年次は必要に応じて実施します。
専用学習室	なし（ただし、優先的に使用できる教室あり） 渡日生徒の HR・日本語学習・課題学習などに使用します。
サポーター配置	中国語・ネパール語・ポルトガル（ブラジル）語各 1 名 日本語指導者 1 名（計 4 名）
地域団体との連携	特になし
ボランティアの受入れ	特になし
生徒たちの活動紹介	2025 年度は男子 2 名・女子 1 名が入学し、3 名ともバレー部で活動しています。一般生徒と交流しながら、文化祭などで、各自のルーツを紹介しています。総合学科発表会では、渡日生代表のスピーチを例年行っています。日本語能力試験と実用英語技能検定に取り組んでいます。
その他（受検生へのアドバイス等）	受検希望者に学校説明会などを行います。ぜひ問い合わせをしてください。

3 所在地・アクセス

〒664-0006 伊丹市鴻池 7 丁目 2 番 1 号

TEL(072)779-4651 FAX(072)779-4659

<https://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/itamikita-hs/>

伊丹駅（阪急・JR）からバスを利用します。

自転車通学者も大勢います。



④ 県立加古川南高等学校（総合学科）

1 学校の特色

本校は総合学科です。2 年次から、自分の好きなことや進路の希望に合わせて科目を選ぶことができます。地域公開講座（スペイン語・中国語・ハングル）があったり、ボランティアとして地域と関わったり、地域の人と交流したりする機会が多くあります。また、体験活動・探究学習に力を入れており、それらを通して自分から動く力やチームワーク、コミュニケーション能力などを身につけ、自分らしく生きる力を培うことをめざしています。

2 2025 年度公立高校外国人生徒特別枠選抜により入学した生徒に対する支援

日本語授業	2 年次：日本事情（2 単位）、3 年次：日本探究（2 単位）
取出授業	1 年次：現代の国語、言語文化、歴史総合、数学Ⅰ、数学 A、生物基礎
授業以外の 学習支援	取り出し授業以外は他の生徒と一緒に授業を受けます。事前に語句の意味を調べるプリントで勉強してから授業に参加します。1 年生では、文化的な背景の違いから語彙が難しく感じられる家庭基礎・保健・情報Ⅰ・産業社会と人間の授業時に、支援員がサポートします。放課後、日本語の学習を進め、授業で分からなかったことなどをフォローします。定期考査前には勉強会が開かれます。
専用学習室	外国人生徒支援ルーム“GUIDE”：取り出し授業や放課後の学習に使用しています。Wai Wai Talk!! というイベントを学期に 1 回開催し、生徒の交流の場をつくっています。
サポーター配置	日本語 1 名
地域団体との連携	加古川市国際交流協会の日本語講座に通っている生徒もいます。
ボランティア受入れ	なし
生徒たちの 活動紹介	勉強は大変ですが、部活動に参加し、意欲的に活動している生徒もいます。総合学科発表会では、活動の成果物の展示や発表をしました。
その他（受検生への アドバイス等）	日本語力と同じくらい、各教科の基礎学力も重要です。受検を希望する方には個別相談をしますので、本校教頭まで問い合わせてください。

3 所在地・アクセス

〒675-0035 加古川市加古川町友沢 65-1

TEL 079-421-2373 FAX 079-421-2376

① JR 加古川下車、かこバス「尾上公民館前行き」に乗車、「友沢北」で下車し、50m。

② JR 加古川下車、神姫バス「加古川西団地行き」に乗車、「加古川南高校前」で下車。

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~kakominami-hs/>



⑤ 県立香寺高等学校（総合学科）

1 学校の特徴

総合学科ならではの多彩な科目を開講しています。専門的な外部講師も活用し、関心を持った科目をより深く学ぶことができます。1年次に「産業社会と人間」で自分の将来の生き方やあり方を探り、2年次から人文・自然、看護医療、経営ビジネス、保育・生活、芸術文化の系列から興味・関心、能力・適性、進路希望に応じて、学ぶ科目を選びます。きめ細かなガイダンスや面談を通して「なりたい自分」の実現をめざします。

2 2025 年度公立高校外国人生徒特別枠選抜により入学した生徒に対する支援

日本語授業	1年次：言語文化（2単位）、2年次：日本語Ⅰ（2単位） 3年次：日本語Ⅱ（2単位）
取出授業	1年次：現代の国語、歴史総合、化学基礎 2・3年次：必要に応じて
授業以外の学習支援	学習指導や日本語の補習：週3回（放課後）及び休業中
専用学習室	402教室：主に放課後の補習に使用。
サポーター配置	英語2名他
地域団体との連携	なし
ボランティアの受入れ	なし
生徒たちの活動紹介	特別枠入学生は部活動への積極的な参加と勉学との両立により、日本語能力が向上しています。また校外の英語スピーチコンテストやエッセーコンテストに積極的に参加しています。
その他（受検生へのアドバイス等）	受検希望者には個別面談を行いますので問い合わせをしてください。

3 所在地・アクセス

〒679-2163 姫路市香寺町土師547

TEL079-232-0048 FAX079-265-2070

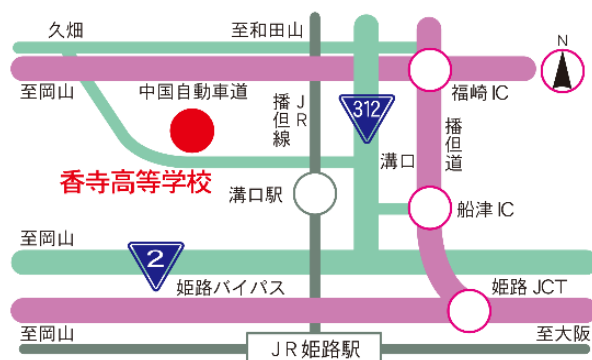
①JR 播但線「溝口」駅下車西へ徒歩10分

②神姫バス「溝口」バス停下車西へ徒歩約15分

<https://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/kodera-hs/>



合唱コンクール



⑥ 神戸市立須磨翔風高等学校（総合学科）

1 学校の特徴

本校は総合学科で単位制の学校です、2 学期制で週 4 日 7 時間授業を行っており、授業時間数を確保しています。「国際・文化」「科学・環境」「福祉・健康」「経営・情報」「教育・人間」の 5 つの科目群があり、特色のある選択科目があります。また、地域との連携にも力を入れており、様々なボランティア活動にも参加しています。

2 2025年度公立高校外国人生徒特別枠選抜により入学した生徒に対する支援

日本語授業	1 年次：日本語基礎（2 単位）・日本語演習（2 単位） 2 年次：日本語演習 1（2 単位）・日本語（2 単位）
取出授業	1 年次：数学 A・数学 I・公共・化学基礎・歴史総合 2 年次（選択科目）：日本語演習・日本語
授業以外の学習支援	日本語能力検定・実用英語技能検定・防災教育
専用学習室	IE（International Education）Roomで取り出し授業や毎日のデイリーミーティングを行っています。
サポーター配置	JSL 支援担当・JSL 支援員（2 名）・ランゲージ支援員（各言語）
地域団体との連携	KICC（通訳）・KFC（その他支援）
ボランティアの受入れ	なし
生徒たちの活動紹介	授業の内容が難しいところもありますが、支援員の方にサポートをしてもらいながら頑張っています。 自分たちの国について紹介動画などを作成し、自分たちのことを知ってもらっています。
その他（受検生へのアドバイス等）	毎日のデイリーミーティングでは振り返りなどサポートしてもらっているので安心して学校生活を送ることができます。

3 所在地・アクセス

〒654-0155 神戸市須磨区西落合 1-1-5

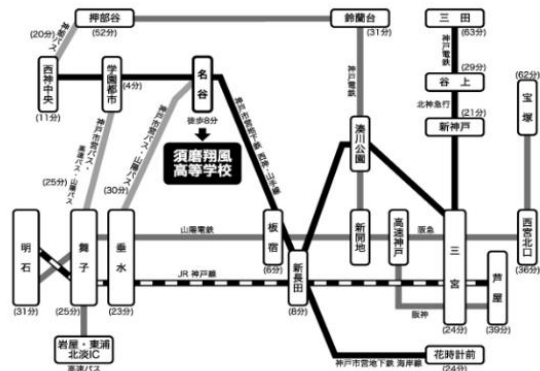
TEL: 078-798-4155 FAX: 078-798-4135

神戸市営地下鉄「名谷駅」下車 徒歩 7 分

学校紹介写真



アクセス紹介



コラム④

特別枠選抜の役割

乾 美紀（兵庫県立大学教授）

（１）セイフティーネットとしての特別枠選抜

2016 年度より、兵庫県に外国人生徒にかかわる特別枠選抜が導入されました。初年度は、特別枠選抜を実施する高等学校が3校、募集定員が各3名（合計9名）でしたが、2019年より5校（合計15名）に増加しています。この特別枠選抜の制度を利用して、渡日年数が少なく、日本語理解が十分でない生徒が全日制高校に入学できるようになりました。兵庫県の高次入学者選抜制度では調査書が重視されるため※、日本語力が身につけておらず「良い成績」が取れない生徒は、特別枠選抜がなければ公立全日制高校に進学することがほぼ不可能であったように思います。この制度は外国人生徒にとってセイフティーネットとなっています。

（２）特別枠選抜の成果

特別枠選抜で入学した生徒たちは、高校でもサポートを受けながら教育を継続することができています。筆者が運営委員を務める学習支援教室でも毎年のように特別枠選抜で受検する生徒がいます。入学後のサポート体制について聞くと、それぞれの高校で手厚い日本語指導や教科指導などが行われているようです。その甲斐もあって、大学進学にも効果が見え始めています。特別枠選抜で高校に進学した生徒たちの中には、公立の外国語大学に入学し、日本と中国のかけ橋となる夢を叶えようとしている中国人生徒、公立大学の国際系学部に進学を果たしたネパール人生徒、英語検定1級を取得し、国立の英語系の大学を受験するフィリピン人生徒もいます。

（３）さらなる拡充をめざして

特別枠選抜を利用し高校のスタートラインに立つことができれば、多様な可能性に恵まれること、日本で生きる道を見出せることが明らかになっています。特別枠選抜での高校入学をめざして、多くの外国人生徒が日々学習に取り組んでいます。私が知るだけでも、1年半前に南アジアから来た生徒、1年前にアフリカから来た生徒がおり、彼らはいずれも日本で定住し日本で働くことを夢見ています。彼らが慣れない日本語の勉強に明け暮れている様子を見ると、ぜひとも高校に入学し、今後日本社会で活躍する道筋を作りたいと願わずにいられません。他の都府県ではさらに多くの外国人生徒が、特別枠選抜により高校入学を果たしています。そのため、今後も他の事例を検討しながら、特別枠選抜の拡大やサポート体制について研究を深めていきたいと思っています。

※学力検査による入学者選抜（3月実施）においては、学力検査の成績と調査書の学習評価との比重を同等に扱われます（兵庫県公立高等学校入学者選抜要綱）。

4 帰国生徒²にかかわる高校進学 ～推薦入学制度～

現在、兵庫県では「帰国生徒にかかわる推薦入学」が行われています（「帰国生徒にかかわる推薦入学」では「外国人にかかわる特別選抜」とちがい、募集定員は決まっています）。また、適性検査等は他の志願者と同様です）。

2025 年度、実施対象は国際に関する各学科で以下のとおりです。

2025（令和 7）年度 帰国生徒にかかわる推薦入学の対象の国際に関する学科のある高等学校

○国際に関する学科：〔県立〕国際高校、尼崎小田高校、鳴尾高校、明石西高校、三木高校
〔神戸市立〕葺合高校 〔姫路市立〕琴丘高校 計 7 校

※各募集人数は、学科とコースの生徒募集数であって、帰国生徒の受入数ではない。

出願資格

2025（令和 7）年 3 月に中学校を卒業する見込みの者並びに学校教育法第 57 条及び同施行規則第 95 条に規定する者で、推薦入学において当該学科を第 1 志望とし、外国における在学期間が 1 年以上であり、次の(1)～(3)のいずれかに該当する者。

- (1) 2022（令和 4）年 4 月 1 日以降に帰国後、県内に居住しており、保護者とともに引き続き県内に住所を有する者。
- (2) 2022（令和 4）年 4 月 1 日以降に帰国後、現在県外に居住しており、2025（令和 7）年 4 月 7 日までに県内へ住所を移し、保護者とともに引き続き県内に住所を定める見込みの者。
- (3) 現在外国に居住しており、2025（令和 7）年 4 月 7 日までに県内へ住所を移し、保護者とともに引き続き県内に住所を定める見込みの者。

通学区域

帰国生徒にかかわる推薦入学を志願する者の通学区域は県下全域とする。

出願手続

出願手続では、推薦入学願書等の提出書類に加え、外国在住を証明する書類（在学期間明示のものが必要）。

選抜方法

それぞれの志願先高等学校において、面接を実施するとともに、必要に応じて適性検査、実技検査及び小論文（作文）を実施する。

² 帰国生徒が入学・転入学できる高校については、「関西帰国生親の会かけはし」のサイトの学校情報誌「帰国生への学校案内<関西>」で多く紹介されてきました。現在は休刊中で、新たに「学校訪問記」をかけはしサイトおよびインスタグラムの中で紹介しています。
<http://www.ne.jp/asahi/kakehashi/kikoku/index.html>

5 「特別の教育課程」による日本語指導

「特別の教育課程」とは、学校が教育課程に創意工夫をする場合に、学習指導要領によらない編成を特例として認める制度です。その特例の一つが、日本語の能力に応じた特別の指導が必要な児童生徒に対する日本語指導です。在籍学級以外の場所で実施する日本語指導を、「特別の教育課程」として編成・実施することで、正規課程に位置づけることができます。義務教育では2014（平成26）年から、高等学校では2023（令和5）年から制度化されました。

対象は、「日本語指導が必要な児童生徒」、つまり「日本語で日常会話が十分にできない」及び「日常会話ができて、学年相当の学習言語能力が不足し、学習活動への取組に支障が生じている生徒」（文部科学省定義）です。国籍は問われません。

「特別の教育課程」としての日本語指導は、一人一人の日本語の能力等の実態を把握して個別の指導目標、指導内容、単位数等を決定し、「個別の指導計画」を作成して実施します。指導後は学習成果を評価し、記録します。作成に当たっては、日本語指導のみならず、教科学習、異文化適応、母語・母文化の保持伸長、多文化共生、キャリア形成（進路）をも含めた総合的な指導・支援を検討することが重要です。

その指導・支援には、学校内では、外国人生徒等教育を教育課題とする共通認識の形成と、組織的体制を整えるための仕組みづくりが重要です。また、地域との連携等により、生徒が共生社会の一員として、言語的文化的多様性を活かし、日本人生徒とともに社会活動に参加する機会を提供することが大事です。

※東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構外国人児童生徒教育推進ユニット参照

2025年度「特別の教育課程」日本語指導を実施している公立高等学校・中等教育学校

① 県立芦屋国際中等教育学校

兵庫県芦屋市新浜町 1-2 TEL0797-38-2293

② 県立芦屋高等学校（外国人生徒特別枠選抜実施校） ※3特別枠選抜実施校で紹介

芦屋市宮川町 6-3 TEL0797-32-2325

③ 県立湊川高等学校（定時制）

神戸市長田区寺池町 1-4-1 TEL078-691-7406

④ 県立有馬高等学校（定時制）

三田市天神 2-1-50 TEL079-563-2883

⑤ 神戸市立神戸工科高等学校（定時制）

神戸市中央区脇浜町 1-4-70 TEL078-272-9910

⑥ 神戸市立摩耶兵庫高等学校（定時制）

神戸市中央区東川崎町 1-3-8 TEL078-360-1316

⑦ 神戸市立楠高等学校（定時制）

神戸市兵庫区松本通 1-1-1 TEL078-521-4700

※⑤⑥⑦の3校は、年度によって実施状況は異なりますので、詳細は学校にお尋ねください。

① 県立芦屋国際中等教育学校

1 学校概要

兵庫県立芦屋国際中等教育学校は、2003年4月に設立され、中学校にあたる前期課程、高等学校にあたる後期課程（単位制普通科）の6年間を通じて、異なる言語環境や文化的背景の下に育った生徒が、能力や適性に応じて弾力的に学ぶ中高一貫校として、教育活動を展開しています。1クラス40名で、1学年2クラス、合計12クラスあります。

2 外国につながる生徒の現状

生徒の国籍・地域（出身地）は多様で、29の国及び地域（2025年4月現在）です。自尊感情や自己肯定感を育みながら、前期課程の3年生になるまでに、生活・学習言語の習得を目指し励んでいます。

3 特色ある教育と外国につながる生徒への指導・支援・「特別の教育課程」について

前期課程では、「習熟度別授業」（英語4・5グループ）・「少人数授業」（社・数・理）・日本語授業（国語）など行っています。また、「A I（Ashiya International）タイム」（総合的な学習の時間）では、生徒の出身国の言語（韓国・朝鮮語、中国語、フィリピン語（タガログ語）、ネパール語、スペイン語、インドネシア語など）や歴史、文化などを学習し、グループごとに発表しています。

後期課程では、4年次の科目選択において、日本語理解が不十分な生徒への支援として主に授業の復習をする「日本語Ⅰ」を選択できます。5、6年次では、第2外国語の選択科目として中国語、韓国・朝鮮語、ドイツ語、フランス語、スペイン語を学習するなど、国際的な視野を広げる活動を行っています。

入学式や卒業式では、生徒の出身国等の国旗を掲げるとともに、多言語でアナウンスを行っています。文化祭では、模擬店、演劇、各クラスが決めたテーマやA Iで学習した国や地域の展示などを行っています。様々な国や地域の違いを理解し、お互いに認め合う多文化共生の取組を行っています。

4 入試概要

前期課程 2025（令和7）年度入学者募集要項より

（1）募集人数 80人

（2）①の対象者30人、②の対象者30人、③の対象者20人

（3）出願資格

①日本語や日本文化への理解が不十分な外国人児童で、平成31年（2019年）4月1日以降に来日し、かつ日本国籍を有しない児童。

この枠には、外国籍だけを持つ児童で日本国籍との重国籍を持つ児童は該当しません。

②継続して1年以上海外に居住した児童で、平成31年（2019年）4月1日以降に海外から帰国した児童。〔保護者の海外勤務等に伴い海外における在住期間が1年以上ある児童で、平成31年（2019年）4月1日以降に帰国した児童〕

③ 本校の教育目標を理解し、留学や海外での生活等を目指して特に入学を希望する児童。

5 編入試験

◇出願資格

- ①外国人生徒（日本国籍を有しない、来日後3か月以内の者。）
- ②海外帰国生徒（保護者等とともに継続して1年以上海外に居住した者で、帰国後1か月以内の者。）

ただし、いずれも兵庫県内に保護者とともに居住する者、または編入学する日までに転居を予定している者に限る。後期課程は4・5年次（ただし、5年次は9月まで）

◇内容

【前期課程】

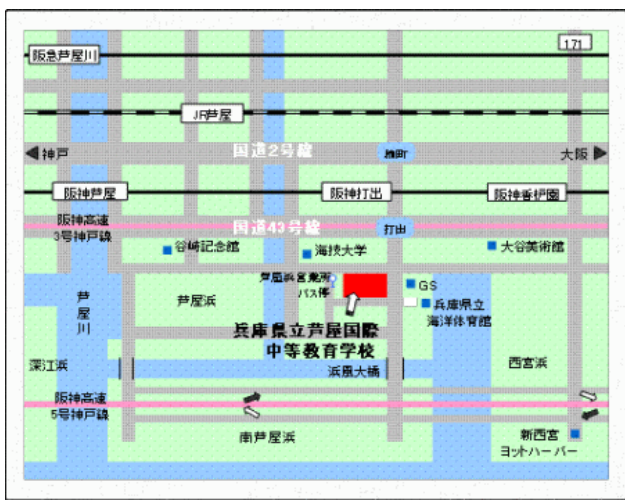
作文（50分）及び個人面接（10分）（第3学年については日本語で行います。）

日本語（20分）（基本、作文と面接のいずれか、あるいは両方を日本語以外の言語で受験する場合に行います。）

【後期課程】

日本語による作文（50分）、面接（10分）、適性検査（国語・数学・英語）各教科30分

◇入試概要、編入試験については、変更される可能性があるので、学校HPや問い合わせなどで最新の情報を確認してください。



学校HP

<https://www.hyogo-c.ed.jp/~ashiyai-ss/index-j.html>



学校周辺地図

③ 県立湊川高等学校（定時制）

1 学校概要

湊川高校は、1929年県立第二神戸夜間中学講習所として設立され、1949年現在の校名に改称した定時制普通科の高校で、校舎は県立兵庫高校と併用しています。15歳から後期高齢者までと幅の広い年齢層の生徒、韓国・朝鮮籍やベトナム籍等の生徒、障がいがある生徒、過去に不登校を経験した生徒など多様な生徒が在籍しています。選択科目や少人数授業、習熟度別授業などを実施し、基礎的基本的な学力の定着を図っています。学校の授業だけで3年間で卒業できる3修制（ドリカムコース）を設置しています。また朝鮮語を必修科目とするなど、異文化理解を深め、人権感覚を磨くことを目的に活動しています。

2 外国につながる生徒の現状

2025年8月1日現在、在籍生徒は98名で、そのうち外国籍生徒は8名です。内訳は韓国・朝鮮籍が1名、ベトナム籍が1名、中国籍が1名、ネパール籍2名、フィリピン籍が1名、ミャンマー籍が1名、パキスタン籍が1名です。この他にも、外国にルーツをもつ生徒は一定数在籍しています。このうち、日本語指導が必要な生徒は4名（ネパール籍2名、フィリピン籍1名、パキスタン籍1名）で、特別の教育課程「日本語指導」を実施しています。

3 特色ある教育と外国につながる生徒への指導・支援・「特別の教育課程」について

（1）特別の教育課程「日本語指導」

本校の特別の教育課程「日本語指導」は令和6年度から始まり、今年度で2年目を迎えます。今年度は対象者4名に対して週に4時間、3修制の限目科目と置き換え、実施しています。基本的には1年次に4単位分置き換え、2・3年次は2単位分を置き換え実施します。外国にルーツをもつ生徒の把握については、入学時に「入学時言語調査」を新入生に向け実施し、本人の成育歴や日本語能力、家庭での使用言語等の調査を行います。さらに中学校訪問や新入生三者面談を通じて情報を収集し、全職員で情報共有を図っています。このうち日本語指導が必要な生徒への特別の教育課程を実施する場合、日本語指導推進委員会で協議し実施しています。事前評価として、DLAによる見取りを行いました。その結果から2グループに分けて、授業を行います。日本語指導の担当は日本語指導コーディネーター（教科：朝鮮語）1名、国語科教員2名、外部指導員（特別非常勤講師）1名です。生徒たちは自身の将来を見据え、日本で生活するための基礎日本語力と教科学習に必要な学習言語能力の向上、日本語能力検定試験（JLPT）の合格に向けて日々努力しています。

(2)「特別の教育課程」以外での支援

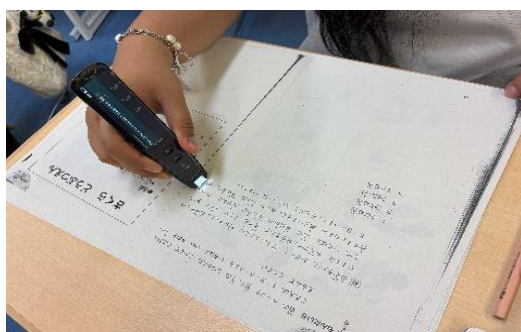
- ① 子ども多文化共生サポーターによる母語支援（月4回）
- ② 授業プリントを含む生徒保護者向け配布資料のルビふり
- ③ 授業中のスマホでの翻訳アプリ等使用を許可
- ④ 定期考査の問題用紙と回答用紙のルビふり
- ⑤ 定期考査では翻訳ペンスルの使用を許可
- ⑥ パワーポイントの翻訳機能を活用
- ⑦ 校内教員研修で「やさしい日本語」について職員全体で学び、「やさしい日本語」での授業実践

4 入試概要

兵庫県公立高等学校入学者選抜要綱に準ずる

5 今後へ向けて

今後ますます増加傾向にある外国人生徒に対して、来年度以降も継続的に日本語指導を実施する場合、現状では担当者や教室の不足等、様々な課題があります。解決が難しい課題も多くありますが、生徒たちの最適な学びに向けて尽力します。日本語指導を受けている生徒たちからは、日々の授業が楽しいという言葉をよく耳にします。外国人生徒だけでなく日本人生徒を含むすべての生徒の成長のためにも、今後さらに生徒間での異文化理解を促進し、学校の教育目標である「あらゆる差別を許さず、命と人権を大切にし、他者と共に生きる心の育成」に努めます。



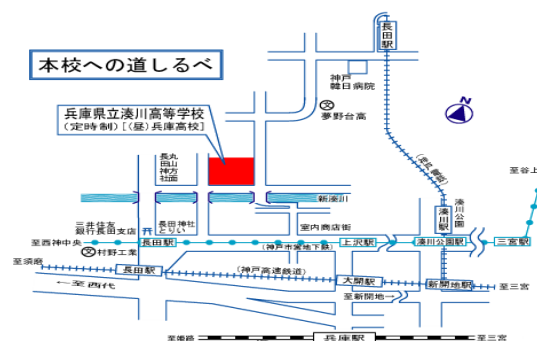
翻訳ペンスル使用の様子



日本語指導の授業の様子



湊川高校HP



④ 県立有馬高等学校（定時制）

1 学校概要 普通科夜間定時制高等学校

「“まこと” つよく きびしく たのしく」の理念のもと、確かな学力と豊かな人間性や社会性を備え、自ら学び、自ら考え、自ら行動し、これからの社会に貢献できる人材を育成する。

2 外国につながる生徒への指導・支援・「特別の教育課程」について

「特別の教育課程」による日本語指導を実施しています。

年度によって実施状況は異なりますので、詳細は学校にお尋ねください。

3 入試概要（検査実施日） ※令和8年度兵庫県公立高等学校入学者選抜要綱による

3月選抜 3月12日（木）

定時制課程再募集 3月26日（木） ※合格者が募集定員に満たない場合

4 その他

生徒一人一人にきめ細やかに寄り添う指導を行っています。3年間で卒業できる「三修制」を取り入れ、3年で卒業する生徒も多くいます。令和6年度より生徒のニーズに応じた通級による指導や日本語指導を実施しています。学年を超えて温かな人間関係を築ける学校行事や生徒会活動、部活動も盛んです。

5 所在地・アクセス

〒669-1531 兵庫県三田市天神 2-1-50

TEL：079-563-2883 FAX：079-563-2882

<https://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/arima2-hs/NC3/>

JR 三田駅 徒歩 15 分

神鉄三田駅・三田本町駅 徒歩 15 分



6 外国につながる生徒が多く在籍する高等学校

① 県立国際高等学校

1 学校概要

兵庫県立国際高等学校は、2003年に開校した単位制の国際科のみからなる高校です。徹底した少人数の学習指導を通じて「英語を学ぶ」「英語を磨く」「英語を生かす」英語力の育成を図っています。多彩な国際科専門科目と大学や専門機関と連携した留学や海外進学への取組も行っています。

2 外国につながる生徒の現状

外国につながる生徒の国籍は、19の国及び地域(2025年8月現在)におよんでいます。出身国や地域に関わらず、自尊感情や自己肯定感を育みつつ、高い志と自身のキャリアアップを目指して、学習活動に励んでいます。

3 特色ある教育と外国につながる生徒への指導・支援

- 2年次全員が、3カ国(アメリカ、カナダ、イギリス)から1カ国を選び海外研修に参加し、ホームステイを通じて現地の文化を体験します。この他、1、2年次希望者を対象にしたオーストラリア研修(10日間程度)や韓国研修(4日間程度)、ドイツ研修(10日間程度)があります。ドイツ研修ではフンボルトシューレ校(姉妹校)と相互訪問しています。
- 2年次から外国研究として、ドイツ、フランス、スペイン、イタリア、中国、韓国・朝鮮のいずれかから一つを選択しネイティブスピーカーとともに言語、文化を学んでいます。
- 毎年夏休み期間中には1、2年次で、県下のALTとの交流会「国際交流セミナー」を開催し、ネイティブとの英会話や通じたコミュニケーション力の育成を図っています。
- グローバルな視点から探究活動を深めるため、特色ある科目として「C.C.C.」(Communication, Cultural Understanding, Contribution)を設定。自己表現力や自己肯定感を育み、他者とのコミュニケーション力を高めることを目的に、国際感覚を身につける取組を実施しています。

4 入試概要 ※R8年度の場合

【実施時期】2026年2月16日(月)推薦入学のみ

【定 員】120名(予定)

【通学区域】県下全域

【試験内容】適性検査(英語の読解力・表現力をみるもの及び英語の聴解力をみるもの)
面接(主に日本語で行い、一部英語による応答を含む) ※予定

5 その他

※「特別の教育課程」における日本語指導は実施していません。

6 所在地・アクセス

〒659-0031 兵庫県芦屋市新浜町1-2

TEL 0797-35-5931

FAX 0797-35-5932

●阪神打出駅より徒歩南へ800m

●阪神芦屋駅、JR芦屋駅、阪急芦屋川駅より

阪急バス『芦屋浜営業所前』すぐ東隣

【URL】<https://hyogopref-kokusaihs.ed.jp/>



緊急のお知らせ 2026年度選抜からインターネット出願導入！

兵庫県公立高校等入試では、2026（令和8）年度選抜から、出願・入学考査料のオンライン決済・受検票の発行・志願状況の発表・合否判定・合格者発表・記者発表資料の作成等の学力検査に係る事務を一元管理できるシステムが導入されます。

システムを利用する学校は、県立及び市立高等学校と県立芦屋国際中等教育学校です。小学校及び中学校に在籍する外国につながる生徒は教員の支援があるでしょうが、母国で中学校を卒業して高校にインターネット出願をするダイレクト生は、テストランの対象外であり、さまざまな困難が予想されます。

- ・テストラン アカウント登録（10/3～10/24）
- ・出願テストラン（11/10～11/28）
- ・志願者マイページ作成開始（12/15～）

詳細は兵庫県教育委員会

<https://www2.hyogo-c.ed.jp/hpe/koko/nyuushi/shutsugan>

説明動画とよくある質問（兵庫県教育委員会チラシより）

説明動画は
こちらから



志願者から
よくある
質問



お問い合わせ

- コールセンター（ヘルプデスク）
実施期間中の平日9:00～17:00
043-400-3425

●問い合わせフォーム

24時間受付。

システムのログイン画面または、システムにログインしメニューからリンクにアクセスして問い合わせ内容を入力。

受付時刻により、翌日又は、それ以降の回答となる場合があります。

② 県立西宮香風高等学校（多部制）

1 学校概要

県立西宮香風高等学校は、1949 年に開設された県立尼崎高等学校浜脇分校（定時制）、西宮市立西宮西高等学校（定時制）を経て 2001 年に多部制・単位制の普通科を置く高等学校として現在に至っています。

2 外国につながる生徒の現状（2025 年 5 月現在）

外国に籍を置く生徒は、1 部 7 名（在籍数 268 名）、2 部 5 名（在籍数 275 名）、3 部 6 名（在籍数 213 名）です。なお、日本国籍を持つ外国につながる生徒も在籍しています。

3 特色ある教育と外国につながる生徒への指導・支援

授業では、「やさしい日本語」の使用、希望に応じてルビ打ち等の支援を行っております。、さまざまな言語や文化を学ぶ機会として、「中国語入門」「ハングル入門」（各 2 単位）や「異文化体験」（2 単位）を開設しています。日本語指導が必要な生徒に対し兵庫県教育委員会より多文化共生サポーターが派遣され、一部の授業に入って支援を行います。

4 入試概要

試 験	実施時期	試 験 内 容	備 考
2 月選抜	2 月中旬	作文と面接	中学卒業見込み者 中学校既卒者
3 月選抜 A	3 月中旬	学力検査（国語と数学の 2 科目および理科、社会、英語から 1 科目を選択）	
3 月選抜 B	3 月下旬	作文と面接	転入・編入希望者
8 月選抜	8 月中旬	作文と面接	中学校既卒者 転入・編入希望者

※各期の募集定員と入学選抜方法等については、学校に最新の情報等をご確認ください。

5 その他

「多文化研究部」の歴史は長く、校内活動のほかに他校との交流会にも参加しています。

6 所在地・アクセス

〒662-0943 西宮市建石町 7 番 43 号

TEL 0798-39-1017 FAX 0798-39-1018

ホームページアドレス <https://www.hyogo-c.ed.jp/~kofu-hs/>

○阪神電車「香櫨園」駅より徒歩約 10 分 ○阪神電車「西宮」駅より徒歩約 20 分

○ＪＲ「さくら夙川」駅より徒歩約 15 分 ○阪急電車「夙川」駅より徒歩約 25 分



7 私立高等学校について

外国につながる生徒の高校選択の一つに私立高等学校があります。公立高校と入試日程が異なるため、公立高校を志望する場合の併願として、あるいは専願で私立高校を志望する場合があります。

また、2026 年度より国の就学支援金制度により私立高等学校も授業料が無償となる予定ですので、選択肢が増えるといえます。ただし、入学金、施設費など、さまざまな費用を計上すると、入学時にかかる費用、卒業までにかかる費用は公立高校と比較するとずいぶん高額になります。安易に決定できないので家庭の経済状況や高校卒業後の進路希望なども考慮し、慎重に考えましょう。

1 兵庫県内の私立高等学校について

兵庫県のサイトに 51 の私立高校の一覧があります。(令和 7 年 4 月 1 日現在)

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk35/pa15_0000000003.html

兵庫県私立中学高等学校連合会のサイトです。

行きたい学校や知りたい学校の情報を検索することができます。

<https://www.hyogo-shigaku.or.jp/chukoren/schooltype/>

2 入試日程や入試科目について

前期日程はおおむね 2026 年 2 月 10 日で、後期日程入試を実施する学校もあります。

入試科目については、学校やコースにより異なります。国・数・英の 3 教科が一般的ですが、多様な受験型があります。英語 1 科目受験・国際入試やグローバルコース・スポーツ推薦など様々な受験が選べる高校もあります。

3 特待生制度、奨学金制度などについて

今まで「英検準 2 級等以上の取得」生徒には、特待生制度として入学金や授業料が無料になる場合がありますが、2026 年度より授業料が無償となるために、授業料以外の優遇措置や奨学金制度を拡充する場合があります。外国につながる生徒の特長や強みを活かすことができる機会となります。詳しくは各高校に問い合わせをしてください。

4 学校説明会やオープンハイスクールに参加しよう

2026 年度入試から私立高校の受験制度や入学後の学びや支援が大きく変わることが予想されます。生徒や保護者を中心に、中学校の教員と支援者が情報を共有し、主体的な高校選択につながる大切です。学校のホームページを見たり、説明会やオープンハイスクールに参加したりして、確かめることが大切です。

小学校での支援のポイント

① 学校制度やルールの説明、事務手続き等

国によって学校の制度や学校生活でのルールはさまざまです。また、事務手続等もわかりづらいことが多く、「やさしい日本語」を用いて丁寧に説明しています。

② 文化的背景・家族背景の確認、情報共有

例えば、給食における食物アレルギーの有無だけでなく、宗教上食べてはいけないもの、イスラム教徒（ムスリム）の場合には、ラマダン（断食期間）に給食を食べない場合の給食停止・給食費返金、給食時間の過ごし方、礼拝時間・礼拝場所の確保など宗教上の配慮が必要となる場合があります。

③ 生活面・精神面でのケア

来日の事情や家族との関係等を丁寧に聴き取り、一人ひとりの児童に応じた生活や心のケアを行います。

生活様式の変化に順応できなかったり、言葉が通じないことから引きこもったりするなど、学校生活に適応しづらい場合には、特に細かな配慮が必要です。

④ 学習についてのアセスメントと個別の指導計画

国によって、カリキュラムや学習方法はさまざまです。例えば、算数では、加減乗除の計算方法や九九等が違ふことがあるため、算数の習熟度や方法などをアセスメントし、個別の指導計画を作成します。こうして、学力向上・進路実現を支援します。

⑤ 「特別の教育課程」による日本語指導

初期の“サバイバル日本語”からはじまる段階的・系統的な日本語指導を行います。特に「生活言語」に関しては子どもどうしのつながりや学校生活の中で身につけますが、「学習言語」の習得には一般的に5～7年かかるとされます。

⑥ 将来の展望

「将来的に日本で生活していくのかどうか」等の長期的な見通しを随時確認します。

